

ノコリモノ便（仮）

閉店前のパンを、 近所でほしい人に届ける。

残りそうなパンを撮るだけで、常連さんに取り置きのお知らせ。

発表者 名前を入れる

誰の、何を どう解決するか

誰

個人で営むパン屋・惣菜店（スタッフ5人以下）の店主

何

閉店時に残るパンの廃棄と、値引きを知らせる手間

※ 3店舗への聞き取りから立てた「課題の仮説」です

どう

残りを撮ると告知文ができ、近所の登録者が取り置きして受け取りに来る

店主：使うかを決める人。お金を払う人

近所の常連：お知らせを受け取り、買いに来る人

いまは **どうしているか**

今のやり方（代替手段）

閉店前に店頭で値引き

店の前を通る人にしか届かない

届く範囲が狭い

SNSに手で投稿

閉店作業と重なり、写真と文を作る時間がない

続かない

廃棄する／仕込みを減らす

仕込みを減らすと、今度は売り切れで機会を逃す

損が出る

聞き取りで出た声

3店舗（架空の記入例）

“

閉店の30分前がいちばん忙しい。投稿なんてとても無理

パン屋・店主

“

常連さんに「残ってたら取っておいて」とよく言われる

パン屋・店主

“

捨てる量より、捨てるときの気持ちがつらい

惣菜店・店主

まだ3店舗のみ。数を増やして確かめます

届けたいのは、**こんな変化**

BEFORE

「今日もこれだけ残ったか...」

- 閉店後に残ったパンを数えて廃棄
- 値引きしても、気づくのは通りがかりの人だけ
- 明日の仕込みを減らすか迷う



AFTER

「残りそうな分は、もう予約が入った」

- 閉店1時間前に撮るだけで告知が終わる
- 近所の常連さんが取り置きして受け取りに来る
- 仕込みを減らさずに済む

廃棄が減る

告知の手間がない

常連さんにつながる

※ 提供したい変化のイメージです。検証で確かめる前の段階です

3つの機能で、告知を1分に

01

**撮るだけで
告知文ができる**

残りのパンを撮ると、
品名と数を読み取って
文章に

+

02

**近所の登録者に
だけ届く**

お店を登録した人に
LINEでお知らせ

+

03

**取り置きして
店頭で受け取る**

決済は店頭。
店主は名前を確認するだけ

=

1分

**閉店前の
告知が終わる**

撮影から告知までの目標時間

店主のスマホ**1台**で始められる

| お客様は**アプリ**を入れなくていい

4ステップで使う

店主

01 撮る

閉店1時間前、残りそうな
パンを棚ごと撮影する

約10秒

店主

02 確かめる

品名・数・値引き後の価格を
確認して、送信を押す

約30秒

近所の常連

03 取り置く

LINEのお知らせから、ほしい
パンと受け取り時刻を選ぶ

お客さん側

店主・常連

04 受け取る

店頭で名前を伝えて受け取り、
その場で支払う

閉店まで

店主の作業は 01・02 だけ

お客さんはアプリ不要（LINEのみ）

LIVE DEMO

実際に動かします

撮影 → 告知文の確認 → お客さん側の取り置き画面まで

01 撮る

02 確かめる

03 取り置く

デモのURLを入れる

ほかの方法と何が違うか

	ノコリモノ便（仮）		店頭で値引き	SNSに手で投稿	フードロス販売アプリ
告知にかかる時間	◎	撮影から約1分（目標）	○ 値札を貼るだけ	✕ 写真と文を毎回作る	△ 出品の入力が必要
届く範囲	◎	登録した近所の人	✕ 通りがかりのみ	△ フォロワー次第	○ アプリの利用者
常連とのつながり	◎	お店ごとに登録	○ 顔は見える	○ やりとりできる	△ アプリ側の客になる
店の費用	△	月額（検証中）	◎ なし	◎ なし	△ 販売手数料

仮説

「告知の手間」と「近所に届く」の両方を満たす方法がまだない、と考えています

最初に狙う 市場の大きさ



TAM

全国のパン屋・惣菜店 × 月額 × 12か月

出典：統計の名前と年を書く

SAM

うち個人経営で、都市部にある店

絞り込んだ条件を書く

SOM

最初の3年で導入できそうな店の数 × 月額 × 12か月

営業できる地域・人数から逆算する

市場規模 = 店の数 × 1店あたりの年間の支払い

数字は必ず出典と計算式を添える。わからない欄は〇のまま話さない

店主が月額で使う

現在 無料テスト版（決済機能は実装しない）

将来の仮説：1店舗・月額

2,980円

／月

仮価格・未確定の検証価格

誰が払う 店主（お客さんは無料）

何に払う 告知の手間がなくなることと、廃棄が減ること

続ける理由 毎日の閉店前に使う。常連さんの登録が増えるほど取り置きが入りやすくなる
※ 仮説。次の段階（STEP 2）で確かめる

主な費用 LINEの配信費、サーバー、画像の読み取り、問い合わせ対応、営業

売上 = 契約店舗数 × 月額 × 継続月数

ここから上の費用を引いたものが利益。売上と利益は分けて見ます

起こりそうなことを先に潰す

取り置きしたのに
来ない

受け取り時刻を過ぎたら自動で解除

解除した分はもう一度お知らせに出せる

数の読み取り
まちがい

送信前に必ず店主が確認する

読み取った数はそのまま送らない

お知らせが多くて
ブロックされる

1店舗1日1回までに制限

受け取る曜日・時間帯をお客さんが選べる

定価で買う人が
減る

値引きは閉店1時間前から

開始時刻は店主が決められる

食品の
衛生・表示

店頭での受け渡しに限る

配送はしない。表示は店のルールのまま

店主が
使わなくなる

閉店1時間前に通知でお知らせ

作業は撮影と確認の2つだけにする

どれも設計で減らすための方針です。テストを通して見直します

知り合いのお店で、確かめる

3店舗

2週間、無料で使ってもらう

検証計画の仮案

方法

閉店前の作業の観察

店主への聞き取り

置き置き数と廃棄数の記録

? 撮影から送信まで1分で終わるか

? 常連さんが登録してくれるか

? 廃棄が使う前より減ったか

? 店主が毎日自分から使うか

? 置き置きが実際に入るか

? 月いくらなら払いたい

次に進む目安：3店舗のうち2店舗以上が2週間使い続け、置き置きが毎日入ったとき

※ 「払いたい」という回答は、実際に払うこととは分けて扱います

「使いたい」「使い続けた」「実際に払った」を分けて見る

STEP 1

今回の検証

使いたい

- 知り合いの3店舗で毎日使えるか
- 聞き取りで払いたい金額を聞く

STEP 2

将来計画

使い続けた

- 知り合い以外の10店舗に広げる
- 付き添わなくても使えるか
- 1か月後も毎日使っているか
- やめた店に理由を聞く

STEP 3

将来計画

実際に払った

- 改善後、小さく有料で提供する
- 店主が自分のお金で払うか
- 価格、払う理由、解約を確認
- 営業と問い合わせの手間を確認
- 売上に加え、費用と手間も見る

将来計画

STEP 2・3は将来計画です。今回のハッカソン版に決済は入れていません

今日までに作ったものと、これから

機能	確認した内容	状況
撮影と読み取り	棚の写真から品名と数を読み取る 読みまちがいの割合はまだ測っていない	動作確認済み
告知文の作成	品名・数・価格から文章を作り、店主が直せる	動作確認済み
LINEへの配信	テスト用のアカウントで、登録者にお知らせが届く	動作確認済み
取り置き予約	商品と受け取り時刻を選んで予約できる 同時に予約が入ったときの動きは未確認	実装済み・一部未確認
自動の取り置き解除	受け取り時刻を過ぎたら解除する	未実装
店主向けの記録画面	日ごとの取り置き数・廃棄数を見る	未実装

確認した日と環境を書く（例：2026年〇月〇日、PCのChromeで確認。実際のお店での確認はこれから）。表の状況は架空の記入例

なぜ自分がつくるのか

発表者

名前を入れる

企画から開発まで、ひとりで担当

- 前職：飲食店の店長（記入例）
- 近所のパン屋5店舗と面識あり（記入例）
- ノーコード・AIツールで今回の試作をつくった

この課題に取り組む理由

店長だったころ、閉店後にパンを捨てる側だった。
話を聞けるお店がすでにある

ひとりでは足りないところ

食品の衛生・表示の知識、店舗向けの営業経験

→ 次のページでお願いします

今日、**お願いしたいこと**

01

テストに協力してくれる お店を紹介してほしい

個人のパン屋・惣菜店。2週間、無料で
使っていただける店舗を探しています

いちばんのお願い

02

価格について 意見がほしい

月2,980円は高いか、安いか。店舗向けの
料金の決め方を知っている方の話を
聞きたい

懇親会で声をかけてください

03

食品の表示に 詳しい方を探しています

値引き販売と取り置きで気をつけることを
教えてほしい

相談に乗ってくれる方も歓迎

THANK YOU

閉店前のパンを、 近所のだれかに。

捨てるはずだったパンが、常連さんの夕食になる。
まずは3店舗で確かめます。

テストに協力いただけるお店を探しています

CONTACT

デモ	URLを入れる
連絡先	Discordの名前など
発表者	名前を入れる